

佐賀県・ハードとソフトのまちづくり

～「えびす音頭」を盛り上げよう～

日本不動産研究所 佐賀支所
不動産鑑定士 寺山 三男

【新幹線は鳥栖市、武雄市、嬉野市】

佐賀県を通る九州新幹線西九州ルートは、工事が着工し着実に進行している。新鳥栖駅は、博多から鹿児島までの九州新幹線区間に入るの既完成しているし、新武雄駅も既に駅舎は新しくなっている。九州新幹線西九州ルート開業にあわせ新嬉野駅が新設される。三駅ともに新駅を含んだ土地区画整理事業が進行している。



「九州新幹線新鳥栖駅。既に開業している。」



「九州新幹線西九州ルートの新武雄駅。建物は完成し開業を待つばかり。共に駅周辺は土地区画整理事業が進行中だ。」

【「サガン鳥栖」の応援がホットな佐賀市・鳥栖市】

平成 24(’12)年に 1 部リーグに上がった地元プロサッカーチーム「サガン鳥栖」の快進撃を応援すべく十分なものではないが既に鳥栖市内には練習場が設けられ、佐賀市でも練習場の建設等の応援計画が進行中である。

このような「公共団体を巻き込んだまちづくりの計画」とは別にソフトな面でまち興しを行っている団体・個人を紹介する。

【歌のまち歌謡祭】

最近各地でまち興しの歌謡祭等が行われているが、嬉野町の「嬉野歌謡祭」・唐津市相知町の「村田英男歌謡祭」・毎年 9 月頃県内各地で行われる「21 世紀さが国際音楽祭」・武雄市の「温

泉 de ビートルズ音楽祭」・世界的なクラシックを演奏する音楽祭「ラ・フォル・ジュネ鳥栖」等がある。

【地産地消歌手】

佐賀県出身の歌手は多いが、まちづくりに貢献しようと奮闘されている多久市在住の演歌歌手(58歳)：希望彰さんは、自称「地産地消歌手」と言われて、これまで10曲ぐらいの地元佐賀県を元気にする内容のCDを出されている。最新作は平成24(’12)年7月にリリースされた「えびす音頭」で、「えびす音頭でさあ 踊りましょう 佐賀のえびすは日本一 五穀豊穡 えびす顔・・・」と4番まであるが、日本一の数をほこる佐賀市のえびす像に魅せられた愛好家達が同曲制作を依頼したもので、歌に合わせて各流儀を超えた踊りの振り付けも完成し、婦人会等で踊りの練習もされている。佐賀市観光協会も力を入れて応援している。

【まちづくりと物語】

ソフトなまちづくりで欠かせないのは、「東海道五十三次」等に見られるように物語風な付加価値であろう。テレビ・ラジオ・インターネット等で話題が出ることを狙っているのは全国共通だが佐賀では何があるだろうか？朝・昼のドラマ・大河ドラマ等に取り上げてもらうことは各県とも競い合って希望している。しかし、まちづくりに繋がる物語と言ってもすぐには対応出来ないならば、例えばNHK紅白歌合戦にまちづくり部門か何か新設し「えびす音頭」が取り上げられないだろうか？踊りと歌で全国に親しまれている「炭坑節」に並ぶように盛り上がっていけば、かなり「佐賀のまちづくり」に貢献するはずである。